

「膝関節軟骨治療の術後臨床成績に関する研究」へのご協力 のお願い

代表者 所属：整形外科 職名：主任部長 氏名：皆川 寛
共同担当者 所属：整形外科 職名：医長 氏名：田村 優典

1. 目的

膝関節の軟骨損傷に対する既存の治療として、骨髓刺激法 BMS、骨軟骨柱移植術 OATS があり、2025年12月1日より新規吸収性軟骨再生用材料®モチジェルが使用可能となった。いずれの治療を選択するかについては軟骨欠損面積、部位、関節症変化の有無、アライメント、年齢など複合的な要因の上に決定されるが、使い分けが定められた明確なガイドラインは存在しない。

本研究は軟骨損傷に対して治療（骨髓刺激法 BMS、骨軟骨柱移植術 OATS、吸収性軟骨再生用材料®モチジェル）を施行した患者の臨床成績(Xp, CT, MRIなどの画像所見、合併症の有無、臨床スコア、関節鏡所見)を調査し、治療の有効性を検討することである。

2. 対象と方法

2020年4月1日以降、当院で、外傷性の軟骨損傷、離断性軟骨炎、変形性関節症に対して軟骨治療（骨髓刺激法 BMS、骨軟骨柱移植術 OATS、吸収性軟骨再生用材料®モチジェル）を当院で施行した患者の術後臨床成績を後方視的に調査する。

3. 研究期間

2025年12月12日～2027年3月31日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させて頂きます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ①患者基本情報（年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、スポーツ歴、職種）
- ②画像所見（MRI、CT、レントゲン）所見
- ③関節鏡画像所見（初回手術、（もし施行があれば）2nd-look）

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 岡 岳文
連絡先：電話 0868-21-8111（担当：整形外科：田村 優典）